

我が母校の卒業式にあたり、同窓会を代表してお祝いの言葉を述べさせていただきます。

卒業生の皆さん、ご卒業、おめでとうございます。

保護者の皆さま、心からお祝い申し上げます。

また、校長先生を始めとする先生方のこれまでのご功勞に対し、心より敬意を表します。

卒業生の皆さん、皆さんの同窓会入会を心より歓迎いたします。同窓会会員は、皆さんを迎え、今や約 23,500 人。同窓会は、社会の様々な分野で活躍する同窓生の人的ネットワークを活用し、在校生の高校生活がより有意義で豊かなものになるよう、母校発展のためのお手伝いをさせていただいております。これからは先輩として、皆さんも体験された同窓生講演会の講師になる等、母校の後輩達のために同窓会活動に積極的に参加されることを期待します。

さて、私が実社会に出て初めて分かった事ですが、高校時代の友人、先生方との付き合いは、会社などの実社会でのものとは異なり、世俗的な利害・打算が絡まない、純真なものです。これから厳しい生存競争社会に入っていく皆さんにとって、高校時代の友人と先生は、心の安らぎを与えてくれ、時には厳しいアドバイスをしてくれる「宝物」です。足立高校での友人、先生とのご縁を大切にしてください。

ところで、最近の世界の動きを見ていますと、「歴史は繰り返す」、という古代ローマ時代からの格言が頭をよぎります。

今から 70 年前の 1945 年に終結した第二次世界大戦は、人類史上最大の惨禍をもたらしました。昨年の英国の EU 離脱、今年の世界大戦の結果は、国民が、先の世界大戦の反省を踏まえて国際協調という衣で覆っていた自国本位主義を、これからは前面に打ち出して国を運営するという道を選択したのです。他の民主的なヨーロッパ諸国の国民世論も同じような傾向を示しています。

日本と近隣諸国との関係も、様々な問題を抱えながら、緊張の度を増しつつあります。

これらの国際的な政治・経済環境の大きな変化は、日本にも徐々に影響を及ぼしつつあります。

歴史は繰り返す、History repeats itself. それ故、負の歴史を繰り返さぬよう、歴史に学べ、との人類の教訓……。

これから起こりうる大きな環境変化の中で、皆さんは、個人の進路を決める就職、進学、結婚等の人生の節目で、また、国の進路を決める選挙で、道を選択しなければなりません。その際、人類が歩んできた道、お父さん、お母さんを始めとする人生の先輩が歩んできた道を謙虚に学び、これらを参考にしながら、自分の歩む道を選択していただきたいと思います。

それでは、5 年後の 2022 年、私たちの母校創立 100 周年を、同窓生として、共に、祝おうではありませんか。

以上をもちまして、私からのお祝いの言葉とさせていただきます。

本日は、誠に、おめでとうございます。

平成 29 年 3 月 9 日

東京都立足立高等学校同窓会会長 金成秀幸